

## 第8回会議で出た意見

## ●民営化に関する意見

市全体の保育の質の向上のためには民間への支援も重要。公立保育園を民営化したときに公立保育園で使っていた財源を保育の質の向上に使うことが前提。

公立で一番問題なのは、障がいのお子さんが1クラスに4人も5人もいるということ。財源を私立園の補助に充ててそこを頑張っていただくとかなり運営がスムーズになると思う。

保育園の運営は、民間でも問題ないと思う。

民営化により、公立の時代よりも良くなつたというような意見を聞くこともある。民間の方が保護者のニーズに敏感で、色々なサービスを取り入れている。

公立園の保育従事者について、一人一人働き方も時間も違う。朝とか夕方とか園長と勤務時間がずれている職員の細かい把握が困難で指導が行き渡らない面も多々ある。正規職員が増えると、園長以外の正規職員も隅々まで行き渡った指導の機会や時間を設けられると思う。

他市の事例を見ると民営化により様々な効果があつたことが伺える。非常に前向きな印象を持った。

民営化後も、オムツのサブスク等、保護者にとっての利点は継続してほしい。

子どもにとって不利益でないこと、子どもが大事なこと、そういうことを前提にした上で話が進められていると思う。

他の自治体の実例として、削減された財源を保育の向上に使うことが出来る、保育サービスの向上が見込まれる等の効果があつたことはプラスのポイント。反面課題も出ているが、比較的課題を乗り越えるハードルは低いと感じた。

## ●民営化園の機能に関する意見

民営化園の機能として医療的ケアとか療育ができると子どもと保護者の選択肢の方も増えて安心感が深まる。

家庭でお子さんを育てている方が利用できるような子育て支援事業を充実させられるといいと思う。

新たな機能については、最初は必要最低限、安全と安心を守っていき、徐々に増やしていくべきいいのではと思う。

公立の職員が積極的に各園の相談を受けることが可能になる。

民営化にあたってサービスや事業がなくなってしまうのは避けてほしい。一時保育、子育て支援センター、産休明け保育など。

## ●民営化に係る留意点に関する意見

保護者の立場からすると、民営化に伴って環境が大きく変わると、それによって子どもが負担になってしまう部分も多分あると思う。その負担が今度は保護者の不安につながっていくのかなと思うので、そこは慎重に進めていけたらいいと思う。
法人の選定が最重要の課題になると思う。
事業者がしっかりした理念を持っているか。経営管理がしっかりしているかが重要。
法人により理念も違うから、まったく同じ保育はできない。市の考えに近い法人を選ぶなどの工夫が必要。選定に当たって、アンケート等により保護者に意見を聞くことを検討しても良いのでは。
急激な変化を防ぐ。丁寧な引継ぎ。
保護者への説明を丁寧に行うべき。
保育の質の向上に当たっては、継続的に質の向上を目指していくことが大切。
子どもが減少していくことが見込まれるなか、定員についても検討が必要。
会議の内容を聞いていれば理解できるが、保護者にはわかりづらい面もあるのは。保護者への丁寧な説明が必要。
引き継ぎが一番大事。どのような引き継ぎ方をしていくのか、共同保育という形をとっていくのかとか、そういったところも丁寧に考えて保護者への説明もしっかりと行っていくことが大事。
民営化する園を多機能とする場合、単に様々な機能があればいいというのではなく、質がすごく大事になってくるので、そういったことも考えるといい。